

3歳頃からの成長

1. 心と身体の成長

3歳ごろになると、走ったり、ジャンプするだけでなく、片足立ちができるようになったり、徐々にケンケンなどもできるようになっていきます。

それだけでなく、衣服の着脱等、生活習慣も確立していきます。

ことばの面では「ママ おかし たべたい」など、3語文がはなせるようになり、やり取りも成立する年齢です。こちらの問いかけに対しても答えることができます。

遊びの場面では、親との遊びだけでなく、親と離れ、友達と遊ぶこともできるようになってきます。また、一方的なこうしたいという自己主張も見られますが、他者にゆずったり、我慢したりすることもできるようになってきます。

2. 目と耳の病気

目の機能については6歳ごろにはほぼ完成します。目の機能に問題がある場合、そのころを逃すとそれ以上成長しないため、弱視は治療の時期が重要です。眼鏡をかけて適正な治療をすることができれば、しっかりと矯正することもできます。

耳に関しては、聞こえにくさがあると、話す人の表情や身振り、周囲の状況を見て行動をする傾向にあります。ある程度聞こえる場合には言葉も話すことができますが、聞こえにくい状況が続くと、言葉の理解がしづらく、言葉が遅れることもあります。目や耳の病気は早期発見、早期治療をすることが大切になります。

3. 事故の防止

1歳から4歳ごろまでの歩き回る時期では行動範囲が広がり、屋外での事故も多くなります。屋内ではベランダでの事故や浴室で溺れる事故が多くなり、屋外では、自転車からの転落や道路への飛び出し、遊具でのけがなど、防止には大人のきめ細かい配慮が必要となります。消費者庁「子どもの事故防止ハンドブック」では起きやすい事故を紹介しています。

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/child/project_002/

4. 心配事があるときは相談を

育児の心配事は、抱え込まず話すことで解消されることもあります。お気軽にご相談ください。

川西市保健センター
TEL (072-758-4721)